

【File No. 19 | 正家廃寺跡 しょうげはいじあと (長島町正家字寺平 38)】



基壇と礎石が残る伽藍の中心 (手前が塔、奥が金堂)

国史跡「正家廃寺跡」は、築地で囲まれた東西約110^{メートル}、南北約70^{メートル}の寺域を有し、塔や金堂、講堂などの主要伽藍を法隆寺式に配置する古代寺院。8世紀前半に造営が開始され、9世紀後半に主要伽藍の火災を契機に廃絶したことがこれまでの調査で明らかになっている。

寺域は築地によって真ん中で区画され、西側(伽藍地)に寺の主要な堂塔が立ち、東側には維持管理に関わる施設などがあったと推定される。こうした施設が一体となって良好に残っている古代寺院は、全国的にも珍しい。律令制下における仏教の受容や伽藍の造営、維持管理など、古代の地方寺院の在り方を遺跡の上から具体的に把握することができる貴重な遺跡となっている。

ひとロメモ

昭和52から54年度に南山大学、平成4から10年度に市教育委員会による遺構確認調査が行われた結果、平成13年に寺を含む約2.6%で国の史跡に指定された。現在は整備に向けた課題を解決するための発掘調査を実施している。

恵那写真館

私の大好きな1枚
(撮影地：笠置町河合)

ただお
笠置町 遠藤忠夫さん



新東雲橋(仮称)の工事が着々と進んでいますが、いろんな橋がある中でも笠置町の景観にぴったり合ったつり橋は、いつまでも残したいものです。

皆さんの
大好きな風景を
気軽に応募く
ださい!



つり橋

□応募方法 写真か画像データと①住所②氏名(ふりがな)③電話番号④題名⑤写真の場所(町名)⑥お薦めの理由(70字以内)一を記入した用紙を持参するか郵送、電子メールで総合政策課広報広聴係へ提出する。

次号は
1月1日号
発行日は
12月19日(金)です

広報えな No.233

2014年(平成26年)
12月1日発行

発行 恵那市役所/編集 総合政策課広報広聴係
〒509-7292 岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1
☎(0573)26-2111/☎26-2155/(IP電話)050-5808-9521
<http://www.city.ena.lg.jp/> ☒ info@city.ena.lg.jp

『広報えな』12月1日号、
1部当たりの印刷経費は
約10.9円(税込み)です。



◀市ウェブサイト
(閲覧用QRコード)
あなたの知りたい情
報を分かりやすく提
供しています。



◀市メール配信サービス
(登録用QRコード)

音声告知放送の文字版ページ▶
(閲覧用QRコード)



『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。またインキは石油系ではなく、地球に優しい植物油を使用したもので印刷しています。

